

## 令和5年度 第78回 東京都立鷺宮高等学校入学式 校長式辞

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

本日ここに、ご来賓並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、東京都立鷺宮高等学校第78回入学式を挙げてまいすことに感謝申し上げますとともに、こうして皆様と一緒に、新入生の門出を祝うことができることをとても嬉しく思っております。

さて、本日は、新入生の皆さんに「鷺高の4C」をしっかりと心に刻み込んで欲しい、高校生活をより良いものにして欲しいという思いを込めてお話しします。まずは「鷺高の4C」、全て言えますか？

「Challenge : 挑戦」

高い志をもって、自己実現に向けて積極的に挑戦する生徒

「Cooperation : 協調」

自己を知り、他者を知り、社会を知り、友情を育む生徒

「Confidence : 信頼」

ルールやマナーを守り、誠実で責任感のある生徒

「Creation : 創造」

伝統の上に立ち、新しい文化を自らの力で創り上げていく生徒

素晴らしい教育目標です。どの言葉にも素敵な意味と力があります。今日から鷺高生になる皆さんには、この「4C」全てを実践する生徒になって欲しいのですが、そのための第一歩として、「挑戦」を意識してください。

先月開催されたWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）において世界中の人々を魅了した大谷翔平選手ですが、彼の母校は岩手県の花巻東高校です。大谷選手も指導した野球部の佐々木洋（ささき ひろし）監督が、3月9日の朝日新聞「名将メソッド」というコラムで、目標を立てることの意義を述べています。記事の一部を紹介します。

「野球部では、部員全員が必ずすることがあります。目標を立てるのです。81マスの設定シートに記入します。3×3＝9マスの真ん中に、最終目標を書きます。その周囲の8マスに「そのために何をするか」を書きます。これは中間目標になります。中間目標の周りもマスで囲い、「何をするか」を書いていきます。ポイントは、具体的な内容であることと、期限を設けることです。」そして「目標を立て、そのためにすべきことを考え、自分の進む道を明確にする。」と述べています。

大谷選手も作成した81マスの目標設定シートは、「マンダラチャート」と呼ばれているもので、もともとは企業経営のツールとして開発されたものです。マンダラチャートを使うメリットは、大きく4つあります。

- ①目標が明確になる
- ②これまで気付かなかった新しいアイデアを生み出せる
- ③目標達成までの具体的なプロセスを可視化できる
- ④煩雑になりがちな思考を整理できる

「挑戦」するためには「志」が必要です。「志」とは自分の心の内側から湧き出る強い気持ちと捉えるとよいですが、具体的には「目標」と考えてください。「なりたい自分」「実現したいこと」をイメージし、高い目標を考え、目標実現のために日常できることを具体的に考えることが大切です。

新入生の皆さん、鷺宮高校で思う存分「挑戦」してください。失敗を恐れず「挑戦」し続けてください。今日の気持ちを忘れずに、自分の心の中に「挑戦」の灯（ともしび）を持ち続けてください。自分の心が向かうところの「志」、そして「高い志」をもって「挑戦」してください。皆さんのこれからに大いに期待しています。

結びに、保護者の皆様一言ご挨拶申し上げます。

本日から大切なお子様をお預かりすることとなりました。高校生は、心身ともに著しい成長を遂げる反面、様々な葛藤で心が大きく揺れ動く時期でもあります。縁あって鷺宮高校に入学した新入生全員が、人間力と社会性を身に付け、自ら掲げた志を叶えるために、私たち教職員は、生徒と向き合い、時には寄り添いながら、全力を尽くして支援して参ります。また、学校と家庭がそれぞれの役割を果たしながらも、相互に連携していくことが大切だと考えます。どうか、本校の教育活動にご理解いただき、ご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新入生の皆さんにとって、鷺宮高校での生活が実り多きものとなることを願って、式辞といたします。

令和5年4月7日

東京都立鷺宮高等学校長 土方 賢作